

学校法人東放学園
東放学園専門学校 殿

2024 年度 学校関係者評価報告書

東放学園専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員

【学校運営に関する有識者】

岸田 真 桜美林大学 芸術文化学群 教授（委員長）

【就職先企業及び業界関係者】

小川 尚人 一般社団法人 日本ポストプロダクション協会（映像・音響系）

本多 晋 株式会社 レック 撮影部（映像系）

【高等学校教職員】

田口 裕基 日本大学鶴ヶ丘高等学校 教諭

【保護者】

山下 安奈 放送芸術科 2 年生保護者

2. 事務局・東放学園専門学校

堀内 和人 校長

笹原 恭 教務教育部 部長

木戸 司 学務管理部 部長

浜野 龍也 学務管理部 業務主任

3. 学校関係者評価委員会の開催情報

2024 年 9 月 21 日（土）13:00～15:00 東放学園専門学校にて会議実施

4. 学校関係者評価結果

※別紙のとおり

以上

※別紙

4. 学校関係者評価結果

【評定内容】

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で、今後更に向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。
- 1 全く対応しておらず不適切である。学校の方針から見直す必要がある。

重点目標 1 カリキュラムの検討(2021 年度～2023 年度)

コ メ ン ト	評 定
変化する速度がめまぐるしい時代、ニーズに合ったカリキュラムを作ることは学校運営の核となるものである。特に実習系授業の強化は専門学校において重要であり、そこに特化していることは大いに評価できる。 学生への授業評価アンケートを行うなど、現在のトレンドを捉える活動を行っており、しっかりとした取り組みであると思う。今後、昨今の AI 技術の台頭もあり、今まで我々が想定していた技術の進化スピードは、その想定を遥かに凌駕した速度で進歩を遂げると想像できる。学校であるが故に、基礎となる知識は必要だが、その基礎さえ必要なくなる事も想定した、誰しもが驚くようなカリキュラムを設ける事も、検討を始めても良いのかもしれない。 各校それぞれの立場にあったカリキュラムを進めていることが理解できた。継続をしていくことで、教育の独自性や専門性がより深まっていく。現場の立場として、実習演習授業の更なる強化を応援します。年々革新されていく知識学習よりも、ものづくり本来の楽しさを教えてほしい。この頃の経験や自信が、社会へ出てから心の支えとなっていくであろう。 新たな授業の取り入れや授業内容の改正など努力が見られます。関連業界の人材ニーズを把握し情報収集も引き続き行っていただきたい。専門知識や技術などを含め実習授業を強化し、現場に触れ自主的に制作できる環境は評価できます。WEB シラバスも授業概要や内容、評価方法など詳細に載せておりとても分かりやすいです。 現在取り組まれていることや目標に挙げられている点、それぞれ着実に実施されていることがわかりました。また、学生による授業評価の実施方法についても紙から WEB 実施に切り替えるとのことですが、私の勤務校でも 3 年ほど前から WEB 実施に切り替えましたが、実施準備にかかる手間なども削減でき、働き方改革にもマッチし、推奨します。	4

重点目標 2 進路決定率の向上・大手企業対策強化(継続)

コ メ ン ト	評 定
就職試験において重視されるのは面接であり、専門スタッフによって対策していることは評価できる。また内定者への聞き取りを行っていることは後進のためにも有益であろう。 昨今の放送や映像、音響を扱うポスプロ業界にとって、非常に頭の痛い事だが、進路決定をする学生にとっては給料の額によって振分けを行っている。そうすると高額な給料を提供できる、IT 系になるのか、ゲーム業界への就職を希望する学生が多い、学校としては既にパイプを持っているかもしれないが、そちらを強化されてはどうだろうか。 コロナ禍を終え、高い位置で安定した就職率であることは明らかである。決定率に関しても問題が感じられない。大手企業においては、映像系大卒者との差別化をどのように図るのか。専門学校のメリットを具体的にしていくことが課題と考える。 就職活動支援強化により、大手企業等の内定者が増加したようで、評価できます。企業側の求める人材像などの考察、生徒達との情報共有指導等、引き続き支援していただきたい。結果、進路決定率にも繋がると思います。 キャンパスプランへの完全移行を果たしたということでこれまで以上に、情報収集の環境は整備されたので、今後は大手企業へ進路決定した学生の入学時の成績、入学後の諸処の取組結果などの追跡により、学生に対して入学時に進路先決定までの短期目標、中期目標を示すことも可能になると思う。	3

重点目標 3 中途退学者低減の対策強化

コ メ ン ト	評 定
退学してしまう学生には様々な理由があり、本人だけで解決できない場合や個人情報を含むものもある。その対策はなかなか難しい。とはいえ重点目標であることは疑いようがない。状況に応じて臨機応変に対応していくことが肝要だろう。 退学理由の把握や、個人面談など、学生に向き合った対応をされていると評価したい。前年度からの比率軽減も加えて評価できる。 一般的にカウンセリング対策になると思います。報告受けてからの対応ではなく、高カリキュラーですが全ての学生と定期的に個人面談を行い、親身に寄り添っていくような方法になるのでしょうか。個人的には目標値設定が厳しいように感じます。彼らが早い時期に専門職を選択していることも、原因の一つとなります。興味や趣味を職業に考えた時、ドロップアウト	3

トする学生がある程度いるのは想像に難くありません。 DO 率は1、2年生ともに目標を達成しており、昨年度比で若干の低減が見られますので評価できます。退学理由は様々な事情があり学校サイドのみの対応には限界があると思いますが、引き続き個別相談や専任カウンセラー等相談できる環境を整えていただきたい。 目標に対する対策はこれ以外にはないくらい、充実している。高校でもコロナ後の昨年の入学生以降、入学後3ヶ月以内の退学者の割合が急上昇した。環境が100%変化した中で対面で学校生活を送っていくことになり、ハレーションを起こす生徒が多くなっているようである。その点で貴学の取組に問題点はなく、継続していくべきである。	
--	--

重点目標 4 募集力強化(継続)

コ メ ン ト	評 定
少子化といういかんともしがたい現象は、多くの教育機関の悩みの種である。体験入学などで貴学の良さを知ってもらうことが大事だろう。 国内に限らず、香港、台湾などのアジア圏に加え、フランスなどに視野を広げる活動は素晴らしい。また、まだまだ業界の情報を得る機会が少ない、高等学校などに向けた資料を作成するなど、良き活動を評価する。 御校の特色の一つ、東京で映像を学ぶことができる。地方へ向けて SNS を含めたハイブリット化で募集を促進していることは、今後も重要になるはずです。地方学生へ寮などの居住環境を整えている点も評価できます。他校との差別化、特色や魅力がより具体的になれば一層の強みになると考えます。 業界に興味がある子供達が、たくさんある専門学校から1校を選ぶ。その際ホームページにて学びたい学科や就職状況等何校も見比べて、説明会や体験に足を運ぶ流れとなると思います。ホームページの見やすさや SNS の利用、体験入学など評価できます。専門学校検索時に上位にあると保護者も目にしやすいので活用していただきたい。地方学生の為に、オンライン相談やイベントなども頑張ってください。 入学試験は東京に加え、海外の都市とオンラインでも実施しているとのことなので、就学人口の減少が続く国内でのパイの食い合いより、専門学校という特性を活かし、日本で手に職を身につけたいというアジアの学生をターゲットにし、SNS等で認知度を上げていくことも必要ではないか。	3

Ⅱ. 評価項目別取組状況について

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

コ メ ン ト	評 定
創設以来、高い教育理念をもち、多くのすぐれた人材を輩出してきた。放送業界、エンターテインメント業界で活躍している卒業生をみれば、その正しさは明らかだろう。 「基本理念」「使命」「行動指針」の3本柱の体系の元、情報収集、カリキュラム編成など確固たる活動をしている。 三本柱の教育理念に基づいた運営は時代に左右されることなく、活動指針の礎となっている事であろう。様々な取組は具体的に明記されており、積極的に活動をされている印象を受ける。 学園理念、教育方針や目的も定めており、育成人材像を明確にしている。今後もホームページ等で公表し、エンターテインメントの発展に貢献できる人材育成をしてほしい。 「TOHOメソッド」の下、教育理念・目的・育成人材像は明確である。特に募集段階での周知を図ることにより、メソッドを理解した学生の入学率の上昇が期待できる。そして入学前教育、オリエンテーションにつなげていくことにより、貴学の施すカリキュラムもよりスムーズに実施できることにつながるのではないかと。	4

基準 2 学校運営

コ メ ン ト	評 定
教職員研修会、コミュニティーサイトなどを用い、学内のコミュニケーションも取ろうとする努力が認められる。人事考課制度の整備も評価できる。 事業計画に沿った取り組みを行っておられる。人事面で「働き方改革」に対する、教員、職員への指導教育などを盛込めると良いかと感じた。（※基準3の教育活動にもつながる） 事業計画に基づいた運営方針を、教職員全体で情報共有し問題なく遂行できていると思われる。	3

理念に沿った運営方針、達成するための5ヵ年事業計画を定め、教職員に対して明示されており評価できる。意思決定システムの整備や学生支援を目的とした各種情報管理システムも引き続き取り組んでほしい。また、セキュリティ対策も継続的に見直してほしい。 この中で特に注目したのは情報システムへの対応である。セキュリティ対策、メンテナンスの重要性が十分に感じられる内容であり、不測の事態にも対応できるであろう安心感が感じられた。	
--	--

基準3 教育活動

コ メ ン ト	評 定
教育課程編成委員会を設けて検討しているのはユニークである。特に成績評価など教員による差がないようにすべきだろう。「職業実践専門課程」、「高等教育修学支援新制度」の認可を受けたことも大いに評価できる。 取組んでおられる内容に問題はないが、基準2で記した「働き方改革」を学生にも指導できると良い。就職先の対応情報などを取得し、今の業界の在り方をお教え頂ければ、離職率低減にもつながるのではと、勝手思ったりしております。例として、自分は働きたいのに、労働時間の制約からシフトを代えられる対応などの現実。 一環として、現場を見学できる機会があれば良いと思う。在京という利点を活かせば、ドラマ、バラエティなど多様なジャンルが可能ではないでしょうか。ジャンルが違えば扱う機材やスタッフの規模が異なります。現場に直接触れることで、将来を具体化するきっかけになるでしょう。 各学科において専門知識と技術を備えた教員の確保は大変な課題だと思うが、育成等努力が見られ評価できる。在学生や卒業生への授業評価アンケートの実施を行い、生徒たちの意見も吸上げ授業改善のための対応は継続していただきたい。 教育活動の維持、向上にとってもっとも重要な点は教員の確保である。その点で学科によっては教員の確保が十分でない、という現状を改善することは課題である。また研究紀要等の執筆が一部の教員に限られているということについても業務が煩雑になっている現状では執筆したい教員がいれば一部の教員に偏るのも仕方なく、いなければ無理に募る必要はないかと思う。研究紀要でなくてもYouTube 動画で授業の一部を公開するなどして募集に繋げることはできるのではないか。	3

基準 4 学修成果

コ メ ン ト	評 定
キャンパスプランの有効運用を期待したい。また資格・免許の取得を高めようとしていることも良い。TOHO 会と連携も強めて欲しい。 就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価に対する取り組みは評価できる。授業に関連企業からの説明会を授業に取り入れるなど、今後の結果に期待をしたい。 最近の撮影現場では安全面における資格や免許の制度が増えてきている。学内資格も結構ではあるが、これらは評価対象の一つになってくるであろう。 キャンパスプランを活用し就職状況の管理・把握をしており効率的に運用されている。生徒たち個々のレベルアップのために資格・免許取得を推進し学習意欲を高める努力が認められ評価できる。 本年度から始めたという「卒業生来校受付フォーム」に着目した。これにより年間の来校者数の把握に繋がることはもちろん、入学説明会での相談窓口、アドバイザー、講演などを依頼することや在校生に対するキャリアガイダンスの講師なども依頼できるようになることが期待でき、今後に可能性を感じる取組である。	3

基準 5 学生支援

コ メ ン ト	評 定
クラスアドバイザー、専任カウンセラーを置き、十分な学生支援を行っているように思われる。メンタルに問題を抱える学生も少なくないが、それは教育機関だけの問題ではないだろう。 学生相談、就職相談など、本人や保護者への説明やケアに取り組んでいると思います。その上で中途退学者の分析も行っており、甘やかす訳ではありませんが、昨今の若者達の心情心理を理解してあげれるよう指導者の皆様も日々向上してください。諦めが早い現在の若者が相手なので、ご苦労は絶えないと思いますが。 30代前後の留学生が一定数在学されておりますが、例年就職状況は厳しいと思われます。彼らは留学生の就職率を理解して入学されているのでしょうか。業界も国際化という話から 10 年以上経ちますが、この辺りの環境はあまり変わっていないように感じます。 クラスアドバイザーや専任カウンセラー、在学生だけでなく卒業生の企業在籍状況の把握など、様々な支援を行っており努力されていることがうかがわれる。独自の奨学金制度や支援体制を充実させており評価できる。生徒たちが気負わず支援を受けられる環境を整	4

えていただきたい。 専任カウンセラーが隔週で来校されているということであるが、利用率はどの程度なのだろうか。カウンセリングルームの周知は適切にされていることからこの頻度で賄えているのかどうか。ちなみに本校では生徒数 1200 人に対して週 2 回来校している。	
--	--

基準 6 教育環境

コ メ ン ト	評 定
カウンセリングルームの設置、女子学生への対応など、時代に即した環境を整えていると思われる。防災整備への対策も問題ない。 「施設・設備」「学外実習、インターシップ」「防災・安全管理」 明確なチェックポイント設け、対応している。少し気になる事として、学外実習、インターンなどの行事に学生の積極性が不足傾向とあった、参加すれば良いという訳ではないが、就職を見据えた時、個の力を集団の中で生かす自分を形成する必要があるので、その辺を指導頂ければと思います。 映像機材は日々リニューアルされますが、常に最新、高性能を扱う必要はないと思います。一方、アクションカムやドローン、ジンバルやスライダー等、新たな撮影手段に用いる機材には敏感な対応をしていくべきです。 施設・設備は日常点検・保守点検も計画的に実施しており、問題ないと思います。高額な機材やソフト等業界の動向に合わせ充実させるのは大変だと思いますが、生徒たちが学べるよう努力されていると思います。学外実習やインターンシップは現場に触れられる貴重な機会ですので、今後も強化していただきたい。 行事をコロナ前のような活気を取り戻したいということだが、学生主体で行っていくのが理想ではあるが、どうやっていいか上からの引き継ぎや上の学年の様子を見られていないだけに創造力や発想力が欠けているのは特徴として理解できる。いかにしてかつてのイメージを知っている教員団が学生を導いていけるかがカギである。	4

基準 7 学生の募集と受入れ

コ メ ン ト	評 定
エンターテインメント業界は保守的な保護者からは不安を持たれるものだろうから、丁寧に説明を繰り返す必要があろう。体験入学、相談会はもちろん、留学生受け入れに他校との差別的なものができればより良い。 高等学校、日本語学校などへの紹介、説明も対面からオンラインなどその活動は評価できる。放送エンタメ業界に対して、入学希望者や保護者が厳しい環境イメージを持っておられるようだが、実直に環境改善が進む、業界の説明を進めて頂きたい。 地方映像学校の学生の多くは、東京での就学も選択肢にあったと聞きます。この思いとどまった学生に向けてもうひと押しをどうするか。SNS や HP をきっかけとし、層に刺さるアクションが必要かもしれません。 入学希望者への様々なサポートは丁寧に分かりやすくホームページも評価できる。実体験として、高等学校の先生方は業界の情報は少なく家庭で調べて動いていた状態でした。今後卒業生の就職状況など、興味のある子供たちに将来に繋がる情報を与えられるよう努力を継続していただきたい。 学生募集は募集定員を満たすことが目標であることは経営面から考えても当然のことである。そのために対面だけでなく、さまざまな SNS を通じての宣伝にも力を入れていることがわかり、国内については他に方法はないのではと思われるほどである。あとは海外留学生を増やす方策を検討していく必要性を感じる。	3

基準 8 財務

コ メ ン ト	評 定
会計監査を実施しており、問題はないように思われる。 問題ございません。 先への計画性や監査体制もしっかりとしており、報告書を見る限り財務の問題は感じられない。大幅なインフレにより、学費への影響は少なからずあるだろう。財務と直接は関係ないが、奨学金利用者が増加していく社会は個人的に不健全と感じる。 貸借対照表の翌年度繰越収支差額はマイナスとあるが、負債に借入金や長期未払い金ではなく短期的な支出超過であり、原因及び今後の対処方針は各関係者間で共有してい	3

るとある。長期的に収支計画を作成しており予算執行・管理も適切に行われているので引き続き健全な財務管理を継続してほしい。 財務状況が安定しているということは学校運営で最も重要な点である。また、中期計画、単年度計画に基づいた予算編成、執行が行われており特に問題点は感じられない。	
---	--

基準 9 法令等の遵守

コ メ ン ト	評 定
学校という場合は、パワハラ、セクハラなど世間一般でも問題となるハラスメントが、起こりやすい環境にある。教職員は自覚をもって業務にあたってほしい。 【関係法令、設置基準の遵守】【個人情報保護】など、適切な対応、指導を行っておられると思います。 AI の著しい発展により、今や簡単なソフトを使えば誰でもコンテンツを生成できるようになった。環境整備が追いつかない中、個人情報含めたガイドラインをどう整備していくのか。映像学校の今後の対応には興味があります。 コンプライアンスに関して教職員や学生に対しての周知は取組んでおり、引き続き時代に合わせて適正に運営していただきたい。ハラスメントの防止や情報セキュリティなど、信頼の確保には多大な労力が必要になると思うが継続して努力していただきたい。 法令遵守は常に外部の目を意識するようなマインドを教職員全体が持てないと維持するのが難しい。そのために定期的な研修の実施は有効である。	4

基準 10 社会貢献・地域貢献

コ メ ン ト	評 定
ボランティア、リサイクル活動は評価できる。また地域イベントの撮影協力をしている点もよい。 行っている活動を継続して頂ければ問題は御座いません 例えば街のイベントやお祭り、高齢者施設などへの撮影参加があつて良いと思う。もちろんパッケージまでの作品製作として。短く忙しい学生時代に行うボランティアは、多様で魅力的なコンテンツであることが望ましい。 省エネ対策や資源リサイクル等は予算削減にも繋がるよう引き続き取組んでいただきたい。2023 年度は地域貢献で撮影協力も行えたようでとても素晴らしいと思います。	3

地元との繋がりを深め、地域の理解を得ることは学生募集にも大きな影響がある。地域貢献についてはさまざまな取組がされており、今後も持続・発展をすることが望ましい。ボランティア活動の活性化を図っていき、それを地域貢献に繋げていきたい。	
--	--

所感

SNSを拝見しているが、配信数、内容共に、非常に充実している。貴学が対象とする高校生は、もうパンフや雑誌は、ほとんど読まないだろう。このようなSNSをつかった情報配信は関心する。さすがにエンターテインメント業界に精通した人材が制作しているのだろう。若者にアピールするには、若い感覚が必要であり、その点、貴学はとてもすぐれていると感じる。

私がお付する、今年の評価は、何時になく良き評価をお付けしました。貴校の取り組みは業界の環境変化も捉えたしっかりしたものであると思います。

少子化の問題(甘やかし世代)、昨今の学生の考え方や常識が、指導する先生方とのジェネレーションギャップがあり、ご苦勞が多いかと思ます。とかく甘やかされる事に慣れている彼らに、まずは、自分達の価値観、常識が当たり前ではない事を、専門学校である貴校の範疇から外れるかもしれませんが、上手く指導して頂ければと思います。とは言え、なんでもハラスメントになるこの時代、対応に少しでもお役にたてれば幸いです。

地方の映像学校より、上京就職を望む学生は年々増えていると聞きます。「SNSやHPにより情報取得が容易に」「オンライン面接の普及でエントリーしやすく」などいくつか理由はありますが、根底は地方に仕事がないのが原因です。先にも述べましたが、高卒時に上京を促すことは、在京校の重要な役割となるのではないのでしょうか。対策なき少子化傾向は、今後この流れに拍車をかけるだろうと考えます。

テレビ離れが言われる中、どこでも気軽に見ることができるWEB番組や動画コンテンツ等、携わる職業にも変化が見られていると思います。日々変化する業界のニーズを汲み取りながら子供たちの関心を惹くのは大変苦勞されると思います。業界に興味があり、学びたく入学してくる子供たちの育成に引き続き取組んでいただきたい。

今回、各項目の取組を拝見させていただき、どの点についても課題を客観的に捉えられており、様々な対策が検討されていることがわかった。それが外部に伝わっていないところがあったと思います。特に新しいことに取り組むよりも今、貴学が実践されていることはもっと周知していくことができれば結果的に貴学全体のさらなる発展に繋がるのではないかと思います。